

NIKKAN KOGYO

モノづくり

MONODZUKURI

月 NEXT STAGE

火 調達 開発

水 働き方

木 製造

金 販売 サービス

NKE(京都市伏見区、中村道一社長、075・924・0653)は、搬送システムやエアチャックなど自動化機械や機械部品が主力。この技術で4月に商品化したのが腰部サポーター「腰助くん」だ。生産現場の作業者の動作補助はもちろんだ。介護や医療、スポーツ向けなど、同社にとって不慣れたB2C(対消費者)市場の開拓を目指す。

省人・省力化を実現する自動化機器の提供が同社の基本方針だ。FA(ファクトリー・オートメーション)製品の一方、作業者の負担軽減で効率や生産性を高めるHA(ヒューマンアシスト)製品を開発を進める。

「サポーターも作業負担を軽減するアシストスーツの開発から生まれた」(中村社長)。扱いたれたエアを駆動用いてコア部品の人工筋肉を開発

介護・医療などB2C市場開拓



腰部サポーター「腰助くん」。初のB2C製品でスポーツ市場など開拓。手動ポンプで案に空気入れできる

新分野に
売って出る

素材や編み方の工夫の事業化が決まった。一般的な人工筋肉に比べて少量の空気で大きく収縮する。重量大。工場作業や高齢者の物を持ち上げる作業の負担軽減、介護への活用が期待される。素材や編み方の工夫の事業化が決まった。一般的な人工筋肉に比べて少量の空気で大きく収縮する。重量大。工場作業や高齢者の物を持ち上げる作業の負担軽減、介護への活用が期待される。

「腰助くん」は、素材や編み方の工夫の事業化が決まった。一般的な人工筋肉に比べて少量の空気で大きく収縮する。重量大。工場作業や高齢者の物を持ち上げる作業の負担軽減、介護への活用が期待される。

NKE

広い市場を期待する。一課題は製品を知ってもらうことだ。そこで販売サイトを立ち上げ、介護展示会でのPRなどから取り組んだ。

中村社長もゴルフでは必ず装着し、ゴルフ仲間にも紹介すると、誰もが興味を持ってくれた。今後は、膝サポーターなど「エアサポーター」としてラインアップを充実させ、製販で新市場攻略に臨む考えだ。

(京都総局長 平野健)



腰部サポーター「腰助くん」